

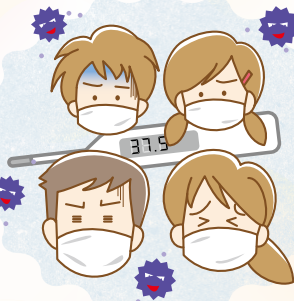
新型コロナウイルス感染症

家族に症状がある場合に注意すること

万が一、家族の感染が疑われる場合に注意するポイントを確認しましょう。

新型コロナウイルスの感染拡大で、いつ誰が感染してもおかしくない状況になっています。もし発熱などの症状を自覚したら、無理せず症状が治まるまでは外出しないでください。家族も時間を決めて熱を測るなど**自分の健康状態を観察し、不要不急の外出は避ける**ようにします。

4日過ぎても発熱などの症状が改善しないときや、さらに悪化したときは、「帰国者・接触者相談センター」に相談しましょう。



家族に発熱などの症状がある場合の対応策

●個室にして部屋を分ける

感染が疑われる人はできるだけ部屋から出ないようにしましょう。



●感染者の世話は限られた人で

高齢者や持病がある人が世話をするのは避けてください。



●マスク・手洗い

使用したマスクは他の部屋に持ち出さず、外した後はせっけんで手洗いを。



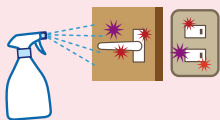
●洗っていない物を共有しない

洗っていない物を共有しないようにしてください。特にタオルの共有は避けてください。



●定期的に換気をする

共有スペースや他の部屋も窓などを開けてよく換気してください。



●手で触れる部分を消毒する

ドアノブや手すりなどは薄めた家庭用塩素系漂白剤（主成分が次亜塩素酸ナトリウムの物）で拭いた後、水拭きします。

●洗濯するときは手袋とマスク

糞便などで汚れた物を洗濯するときは、手袋とマスクを着け、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。

●ゴミは密閉して捨てる

ティッシュなどはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨てます。

集団発生を防ぐために

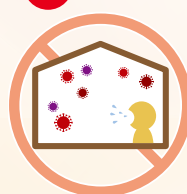
感染の拡大を防ぐには集団発生（クラスター）を防ぐことがとても重要です。手洗いや咳エチケットなどの日常的な感染予防策に加えて、どうしても外出する場合には換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。

3つの咳エチケット



外出するなら3つの「密」を避ける

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



**3つの条件が重なると
集団発生の危険が高い！！**

症状がある場合

「帰国者・接触者相談センター」へ相談を

次の症状がある場合は都道府県が設置している「帰国者・接触者相談センター」に事前に相談の上で、医療機関を受診してください。

①風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含む)

※高齢者や持病等のある方は、2日程度続く場合

②強いだるさ(倦怠感)や
息苦しさ(呼吸困難)がある。

全国の帰国者・接触者相談センターは、厚生労働省のWEBサイトで確認できます。

新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談センター

検索

